

令和元年度

給食センター事業実績報告書

令和元年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
1 学校給食センター	3 運営経費	1 需用費	01 賄材料費	1
	4 給食助成事業経費	1 扶助費	01 給食援助費	2

1-3-1-01						
分類	1-3-1 給食センター			担当課	学校給食センター	
事業名	給食センター運営経費(賄材料費)					
事業内容・目的	学校給食は、各栄養素をバランス良く摂取できる献立を通して、児童生徒の個々の健康及び生活活動等の実態に配慮した食事を提供するとともに、様々な食に触れることができるようにして、また、食に関する指導や食事内容の充実を図ることを目的とする。					
評価指標	1. 学校給食提供人数及び賄材料費					
備考						
年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
実施計画	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値1	1, 887名	1, 867名	1, 928名	1, 886名	1, 822名	1, 822名
目標値2						
決算額	99,359,925	100,148,246	100,447,900	99,995,053	89,263,479	

令和元年度実績

年間給食供給計画日数は、完全給食196日・お弁当の日5日の計201日としています。

ただし、小学校195日以内・中学校1、2年生195日以内、3年生185日以内、認定こども園（幼稚園型1号）が185日以内、認定こども園（保育園型1号）が196日以内、認定こども園（2号）が210日以内として、基本的には、各学校統一としています。

賄材料の内訳は、主食23,479,690円、副食51,663,821円、飲用牛乳14,119,968円となっています。主食の割合は、米飯68.2%、パン21.7%、麺10.1%となっており、米、及びパンの原材料の小麦粉は、100%道内産を使用しています。また、食材の野菜は、46.2%道内産を使用しています。

町内産食材の購入は、乳製品14,624,896円、ホタテ等の水産物518,400円、合計15,143,296円。賄材料費全体の約16.96%が町内産となっています。町内産の利用につきましては、出来るだけ多く取り入れることができるよう乳製品・魚介類を使ったメニューを考える努力をしています。

令和元年度も、新しいメニューや行事食等の提供を引き続き行っており、様々な食に触れることができるように工夫しています。また、日本型食生活の実践、我が国の伝統的な食文化の継承につながるよう配慮しています。

児童生徒が学校給食を通して、日常または将来の食事作りにつなげることができるよう、献立名や食品名が明確な献立作成にも努めています。

また、学校における食育の推進を図る観点から、学校給食を活用した食に関する指導を効果的に行えるように、学校給食の食事内容の充実に努めています。

1-4-1-01						
分類	1-4-1	給食センター	担当課	学校給食センター		
事業名	給食助成事業経費					
事業内容・目的	準要保護及び特別支援教育就学児童生徒への給食費助成。					
評価指標	1. 就学援助人数					
備考						
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実施計画	○	○	○	○	○	○
目標値1	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値2	述人数136名	述人数146名	述人数155名	述人数137名	述人数138名	述人数138名
決算額	6,411,557	6,641,547	7,477,871	6,945,665	6,326,823	

令和元年度実績

教育委員会が認定した児童生徒の保護者に対し、給食費全額を適切に助成をしました。

小学校 195日以内 (1食単価 249円)

中学校1、2年生 195日以内 (1食単価 289円)

中学校 3年生 185日以内 (1食単価 289円)

年間給食費

小学校 48,555円

中学校1、2年 56,355円

中学校3年生 53,465円

準要保護児童生徒人数 小学校44名、中学校33名 計 77名

特別支援学級児童生徒人数 小学校48名、中学校13名 計 61名

予算額6,802,000円 執行額6,326,823円 残額475,177円 (執行率93.0%)

関係会

[illegible]